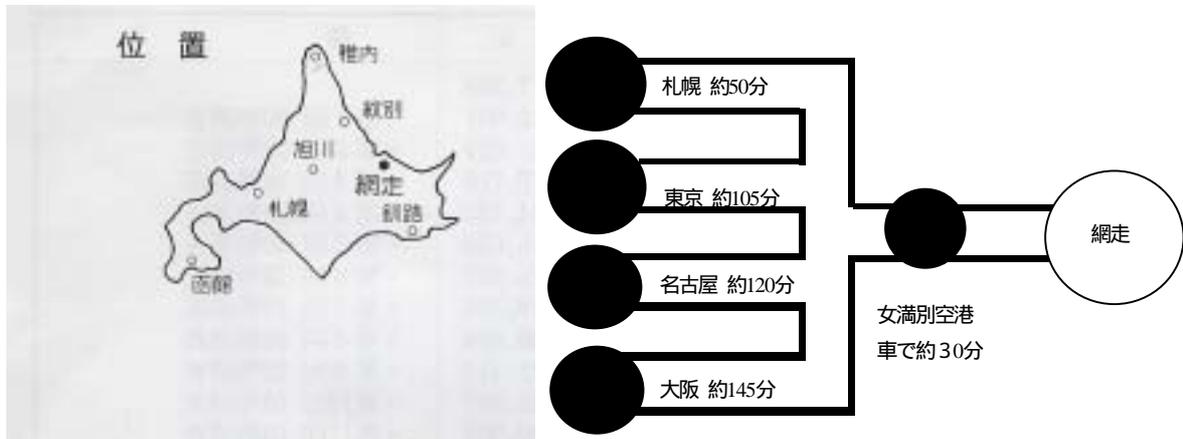


1. 網走市の概況



位 置

網走市は、北海道網走支庁管内の東部、東経 144 度 14 分、北緯 44 度 02 分に位置している。

面 積・周 囲

471 k m²、151,092m

沿 革

網走地方における人類の生活が始まったのは、およそ2万年前頃からであり、今に残る豊富な遺跡がそれを証明している。

明治5年、北見国網走郡の呼称が定まり「網走村」の名が与えられた。そして北見4郡(斜里・網走・常呂・紋別)の中心地として開拓使根室支庁網走出張所の所在地となり、明治30年その管轄区域をもって網走支庁が設置された。

明治20年代に釧路道路(網走～釧路)、中央道路(網走～旭川)が開通し、大正8年には築港工事が開始され、さらに大正・昭和年代には網走本線・釧網線・湧網線の鉄道が開通するなど、陸海交通の要衝を占め、また、オホーツク海の大漁田を擁する水産業をはじめとして農林・畜産の各産業、及びそれらの加工業が興り、それに伴って各官公庁や事業所が集中し、文化施設も着々と整備されるに至って昭和22年2月11日をもって市制を施行した。

その後、交通基盤の拡充による交流の活発化と積極的な都市施設の整備などを進め、平成6年には近隣4市町とともに「オホーツク北網地方拠点都市地域」に指定されるなど、オホーツク圏における中核都市として発展を続けている。

現在は、地域の主体的な発想と実践により、豊かさ、住み良さ、健康、活力、美しさ等の新たな地域の価値を創造し、人と自然が調和する個性的な都市づくりを目指している。

気 象

網走市は、オホーツク海に面しており、これが気象に影響を与えている。夏の季節風は一般に弱く、まれに台風が接近しても本州でみられるような被害はほとんどない。雨量も少なく、また冬は寒冷な北海道の中でも積雪量は少なく、寒気も海流の影響もあって内陸部に比べると和らいでいる。しかし沿岸地帯は、冬季の特殊現象として毎年1月頃から流氷が到来し、最盛期には沿岸を埋めつくして海上交通は途絶えるが、反面、流氷は学術的・観光的に興味深いものとなっている。

人口の推移

年次	世帯数	総数	男	女	備考
大正14年	4,510	24,486	12,859	11,627	・第2回 国勢調査
昭和5年	4,684	26,946	14,228	12,718	・第3回 国勢調査
10年	5,375	31,668	16,945	14,723	・第4回 国勢調査
15年	-	32,732	17,082	15,650	・第5回 国勢調査
22年	6,173	34,850	18,143	16,707	・第6回 国勢調査
25年	6,726	39,218	20,512	18,706	・第7回 国勢調査
30年	7,764	42,961	22,369	20,594	・第8回 国勢調査
35年	9,263	44,052	22,638	21,414	・第9回 国勢調査
40年	10,678	44,195	22,328	21,867	・第10回 国勢調査
45年	12,124	43,904	21,700	22,204	・第11回 国勢調査
50年	13,203	43,825	21,699	22,126	・第12回 国勢調査
55年	14,781	44,777	22,076	22,701	・第13回 国勢調査
60年	14,810	44,285	21,838	22,447	・第14回 国勢調査
平成2年	15,838	44,416	22,021	22,395	・第15回 国勢調査
7年	17,465	44,177	22,282	21,895	・第16回 国勢調査
9年	17,452	42,540	21,041	21,499	3月31日現在住民基本台帳人口
10年	17,572	42,470	20,996	21,474	3月31日現在住民基本台帳人口
11年	17,800	42,405	20,959	21,446	3月31日現在住民基本台帳人口
12年	18,012	43,395	21,787	21,008	・第17回 国勢調査
13年	17,910	41,909	20,594	21,315	3月31日現在住民基本台帳人口
14年	17,965	41,679	20,514	21,165	3月31日現在住民基本台帳人口
15年	18,094	41,427	20,435	20,992	3月31日現在住民基本台帳人口
16年	18,046	41,023	20,212	20,811	3月31日現在住民基本台帳人口
17年	17,982	42,045	21,204	20,841	・第18回 国勢調査
18年	18,074	40,346	19,834	20,512	3月31日現在住民基本台帳人口
19年	18,161	39,983	19,632	20,351	3月31日現在住民基本台帳人口
20年	18,171	39,557	19,396	20,161	3月31日現在住民基本台帳人口

産業別人口

国勢調査

区分	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
総数	21,751	21,202	21,855	22,393	21,834	20,092
第1次産業	3,248	3,142	2,889	2,439	2,392	2,228
農業	2,084	1,970	1,830	1,514	1,563	1,440
林業	127	114	69	50	46	38
漁業	1,037	1,058	990	875	783	750
第2次産業	4,898	4,504	4,710	5,140	4,937	3,800
鉱業	24	18	35	17	9	5
建設業	2,680	2,359	2,562	2,868	2,706	2,017
製造業	2,194	2,127	2,113	2,255	2,222	1,778
第3次産業	13,597	13,530	14,251	14,793	14,446	13,763
電気・ガス・熱供給・水道業	94	97	87	96	82	53
運輸・通信業	1,495	1,384	1,350	1,335	1,271	1,051
卸売・小売業・飲食店・宿泊業	4,718	4,432	4,507	4,515	4,251	4,464
金融・保険業	542	612	596	575	470	438
不動産業	71	54	70	83	80	112
サービス業	5,050	5,386	6,009	6,500	6,698	6,169
公務	1,627	1,565	1,632	1,689	1,594	1,476

平成7年まで宿泊業はサービス業に含まれる